

(シンポジウム) 震災問題を考える

<企画趣旨>

2011年の東日本大震災から1年をこえるが、いまだに地震・津波・原発事故からの地域再建への見通しは立っていない現実がある。東日本大震災が浮かび上がらせた、日本社会が抱えているさまざまな問題を解明し、今後の再建過程をさまざまな角度から検討し、早急に支援していく必要がある。

以下の二つのセッションを通して、原発事故を中心に取りあげることによってリスク社会における社会と科学の新しいあり方を模索するとともに、そこから原地再生へ向けた社会学的知見の総合化を目指していきたい。

<プログラム>

セッション (1) リスク社会における「社会と科学の関係」

司会者 正村 俊之 (東北大学)

報告および全体討論

- | | | |
|--------------------------|---------|--------|
| 1. 構造災の社会学 | 東京大学 | 松本 三和夫 |
| 2. トランスサイエンスと社会的意思決定 | 大阪大学 | 小林 傳司 |
| 3. 3.11 以後の科学技術のリスク規制 | 北海道教育大学 | 小松 丈晃 |
| 4. 内部被曝・低線量被曝のリスクとレジリエンス | 東京都市大学 | 大塚 善樹 |
| 5. 現段階の災害対策と環境研究の理解のために | 北海道大学 | 金子 勇 |

セッション (2) 再建への課題と展望

司会者 山下 祐介 (首都大学東京)

田中 重好 (名古屋大学)

報告および全体討論

- | | | |
|------------------------------|---------|-------|
| 1. 避難生活者の意識・行動の変容と政策過程に関する考察 | 一橋大学 | 佐藤 彰彦 |
| 2. 原子力災害からの地域再生は可能か? | いわき明星大学 | 高木 竜輔 |
| 3. 山形県母子避難者の生活の再編と支援 | 山形大学 | 山根 純佳 |
| 4. 東日本大震災の影響を全国調査の結果から捉える | 大阪商業大学 | 宍戸 邦章 |
| 5. 東日本大震災における宗教者の関わり | 大阪大学 | 稲場 圭信 |

<日時> 11月3日(土曜) セッション(1) 9:30--11:30 セッション(2) 14:00--16:00

<場所> 札幌学院大学第1キャンパス 教室 B棟 101 (北海道江別市文教台11番地)

<主催> 日本学術会議 社会学委員会 東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会 (略称、震災再建分科会)

日本社会学会研究活動委員会

<連絡先> 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学社会学部内 船橋晴俊研究室

Email: hfunabas@mtj.biglobe.ne.jp